

人口動態統計特別集計データを用いた 低出生体重児増加の要因に関する二次解析

研究分担者 吉田 穂波 (神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科)
研究分担者 横山 徹爾 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)

研究要旨

【研究目的】我が国の出生人口のみならず、出生体重の減少は、将来の国民の健康指標や労働生産性、社会保障費、医療費等に関与する母子保健上の重要課題である。過去に1980年から2010年までの人口動態統計特別集計データを用いた低出生体重(2500g未満、Low birth Weight: LBW)児増加の要因に関する二次解析を行ってきた我々は、今回、2015年の同データを用いて、追加分析と検証を行ったので報告する。

【研究方法】人口動態統計特別集計データには、児の性別、出生時の胎内期間を示す妊娠週数、母体年齢、出生順位、単産か複産か、の5つの項目があり、それぞれが出生体重に与える影響について、単変量解析ならびに全因子で調整した多変量解析による要因分析を行い、どんな要因が低出生体重児の増加にインパクトを与えるのか比較した。まず、人口動態統計特別集計データで得られる母体年齢(歳)の6つのカテゴリー(～19、20～24、25～29、30～34、35～39、40～)、児の性別における2つのカテゴリー(男児、女児)、単産か複産の2つのカテゴリー(単胎、双胎以上)、出生順位における3つのカテゴリー(第一子、第二子、第三子以上)、妊娠週数(週)(23週未満、24～41週、42週以上)のそれぞれについて、1980年から2015年までのLBW児出生割合の変遷を分析した。次に、以下の5つの要因(妊娠週数別、母体年齢別、出生順位別、児の性別、単産・複産別)について、出生割合、LBW児出生割合、LBWの相対リスク(Relative risk: RR)、LBWの人口寄与危険度割合(Population Attributable Risk Proportion: PARP)を算出し、分析を行った。PARPは要因曝露による罹患が全罹患に占める割合として公衆衛生対策では重要な指標であり、もしその要因が除去されたらどれだけ疾病を予防できるかを意味している。すなわち、「集団全体で発症(罹患)した者のうち、真に曝露が影響して罹患(発症)した者は何%であるか」を示すため、この考え方を応用すると、全LBW児のうち真に曝露が影響してLBWとなった者は何%であるかを推計することができる。RRは、母体年齢(歳)25～29歳、男児、単産、第一子、妊娠週数(週)40週のそれぞれをReferenceとした。統計解析には、SAS ver. 9.4 (Windows版)を用いた。

【結果】1980年から2015年まで35年間の人口動態調査の全数把握データ(n=9,743,319)を用いた解析により、LBW児の出生には、生まれた時の妊娠週数の寄与が大きいことと、妊娠37週における出生の寄与が35年間で2倍に上昇していることが明らかになった。1980年から2015年まで時系列で見た場合、RRは妊娠週数23～34週の値が大きく、PARP

は妊娠週数 37 週の上昇が最も大きく、母体年齢、女児であること、複産であること、という要因による PARP を大きく上回った。

【考察】妊娠期間の中でも、36 週から 38 週の PARP 増加が目立っており、特に 37 週の PARP は 11%から 22%へと 2 倍に上昇している。陣痛発来が早まるような器質的要因や機能的要因、陣痛誘発や帝王切開等の医原性要因、妊婦の就労や経済状況、産休取得制度等の社会的要因、化学物質等の環境的要因、食物摂取状況や妊娠・出産における心理的要因の他、妊娠中の体重増加や妊娠前の母体 BMI 等も、LBW 児割合増加に関連していると考えられる要因があり、引き続き、より精緻な分析を行っていく必要があると考えられる。

今後とも、我が国で増加している LBW 児の健全な育成と健康のため、出生後の成育や発達の経過も含めた総合的な評価と、胎内ならびに出生後からの長期的な支援体制構築が望まれる。

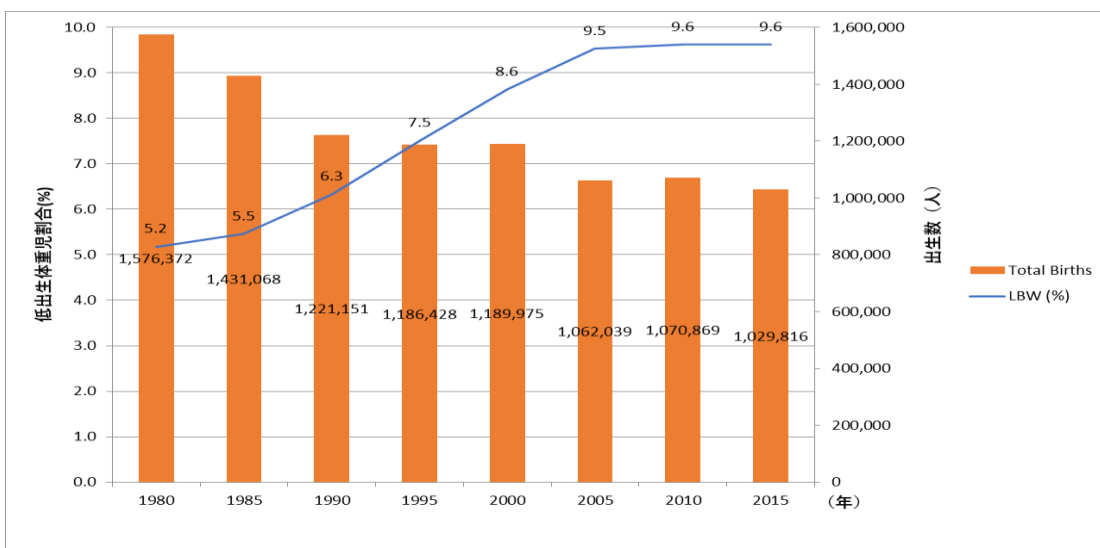
A. 研究目的

我が国の出生人口のみならず、出生体重の減少は、将来の国民の健康指標や労働生産性、社会保障費、医療費、等、すべてに関与する母子保健学上の重要課題である。

近年我が国においては低出生体重児 (LBW) 割合の増加がみられ (図 1)、1980 年の平均出生体重は 3200 グラムであったのが 2010 年には 3000 グラムへと減少しており¹⁾、国の母子保健指標となる LBW 値の悪化について、健やか親子 21 (第 2 次) においても指標として掲げられる等国の健康課題として

も示されてきた。先進諸国においては、医療技術の進歩や体格向上に伴い LBW 児割合が減少しているが、我が国における LBW 児割合増加の要因としては、周産期医療の発達に伴い、早産児や未熟児を救命できることになったこと、高齢出産や不妊治療、ハイリスク妊娠の増加に伴う帝王切開の割合が増加したこと、周産期人材不足や分娩リスクへの配慮から過期産を回避する傾向にあることなどの社会的背景が考えられてきた。

図 1. 我が国の出生数と LBW 児割合



健康日本21(第2次)推進に関して示された5つの基本的方向の中では、妊婦や子供の健やかな健康増進に向けた取り組みを進めることへの具体的な目標として、「適正体重の子ども増加」があげられている²⁾。平成23年度厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「乳幼児身体発育査の統計学的解析とその手法及び利活用に関する研究」等^{3, 4)}、過去に1980年から2010年までの人口動態統計特別集計データを用いたLBW児増加の要因に関する二次解析が行われてきた。特に、2005年よりLBW児割合の増加が止まり、男女平均LBW割合が9.6%と横ばいになっている。LBW児の増加要因として、瀧本らは若い女性の体重減少が関与しているというエビデンスを出しており⁵⁻⁷⁾、LBW児の発育に関して加藤らはその後の身長や体重への影響を明らかにしている⁸⁻¹⁰⁾。

本分担研究では、今回、2015年の人口動態統計特別集計データを用いて、追加分析と検証を行うことを目的とした。

B. 方法

1980年から2015年まで5年間隔の人口動態統計特別集計データ(雇用均等・児童家庭局/子ども家庭局母子保健課 特別集計、n = 9,743,319)を用いた。

人口動態統計特別集計データには、児の性別、出生時の胎内期間を示す妊娠週数、母体年齢、出生順位、単産か複産か、の5つの項目があり、それぞれが出生体重に与える影響について、単変量解析ならびに全因子で調整した多変量解析による要因分析を行い、どんな要因が低出生体重児の増加にインパクトを与えるのか比較した。

人口動態統計特別集計データで得られる母

体年齢(歳)の6つのカテゴリー(～19、20～24、25～29、30～34、35～39、40～)、児の性別における2つのカテゴリー(男児、女児)、単産か複産の2つのカテゴリー(単胎、双胎以上)、出生順位における3つのカテゴリー(第一子、第二子、第三子以上)、妊娠週数(週)(23週未満、24～41週、42週以上)のそれぞれについて、1980年から2015年までのLBW児出生割合の変遷を分析した。次に、以下の5つの要因(妊娠週数別、母体年齢別、出生順位別、児の性別、単産・複産別)について、出生割合、LBW児出生割合、LBWの相対リスク(Relative risk: RR)、LBWの人口寄与危険度割合(Population Attributable Risk Proportion: PARP)を算出し、分析を行った。RRでは、母体年齢(歳)25～29歳、男児、単産、第一子、妊娠週数(週)40週のそれぞれをReferenceとした。

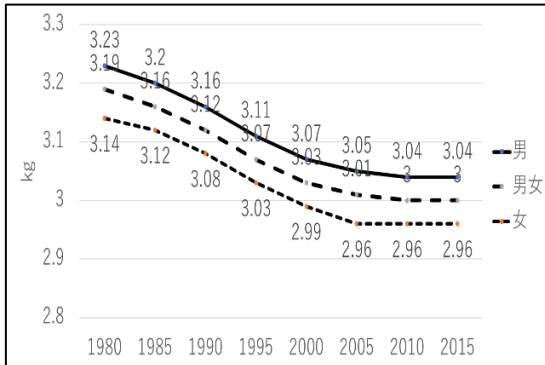
PARPは、疫学における指標の1つであり、「集団寄与危険度割合」とも呼ばれ、集団全体と非曝露群における疾病の頻度の差、つまり集団全体の発生率から非曝露群の発生率を引いたものを、割合で示した値であり、人口集団における曝露効果の影響の大きさを示すことが出来る。PARPは要因曝露による罹患が全罹患に占める割合を見ることが出来る公衆衛生対策では重要な指標であり、もしその要因が除去されたらどれだけ疾病を予防できるかを意味している。すなわち、「集団全体のLBW児のうち、真に曝露(妊娠週数、母体年齢、出生順位、児の性別、単産・複産)が影響してLBWとなった者は何%であるか」を推計することができる。

統計解析には、SAS ver. 9.4(Windows版)を用いた。

C. 結果

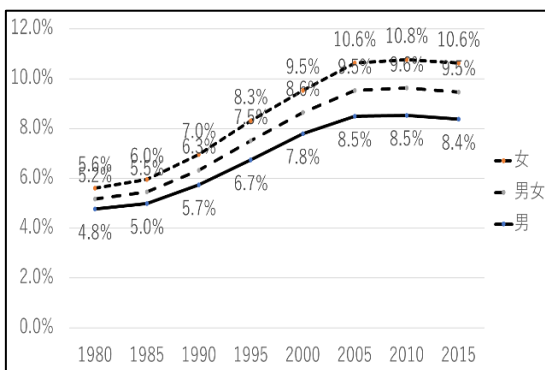
1980年から2015年までの平均出生体重の変遷を見たところ、この35年間で約200グラムの平均出生体重減少が見られた(図2)。

図2. 1980年から2015年までの平均出生体重の変遷



1980年から2015年までの低出生体重児出生割合の変遷を見たところ、この35年間で約4.3%の低出生体重児割合の増加が見られた(図3)。

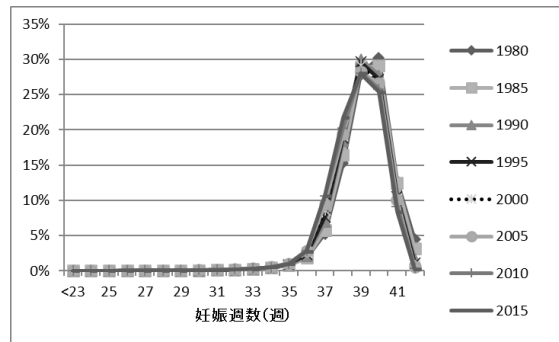
図3. 1980年から2015年までの低出生体重児出生割合の変遷



この35年間の出生における妊娠期間の推移を見たものが図4である。年代を追うごとに出生週数のピークが40週よりも早い週数に移動しているが、37週を境に増加が止まっており、妊娠期間は小さい方にシフトしているが、早産割合は増加せず、37週以降40週までの満期産の期間に集中し

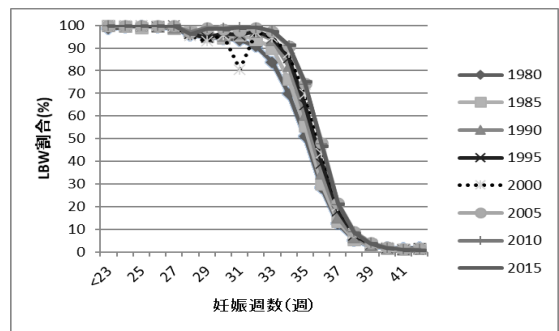
ている。

図4. 妊娠週数別出生割合



妊娠期間別のLBW割合を図5に示す。

図5. 妊娠週数別LBW児出生割合



母体年齢、出生順位、児の性別、単産・複産のすべての項目で調整した妊娠期間によるLBWのRRを図6に示す。

図6. 妊娠週数別LBW児リスク (Relative Risk: RR, 基準=40週)

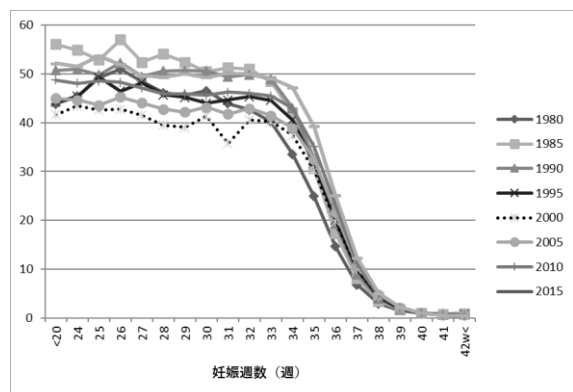
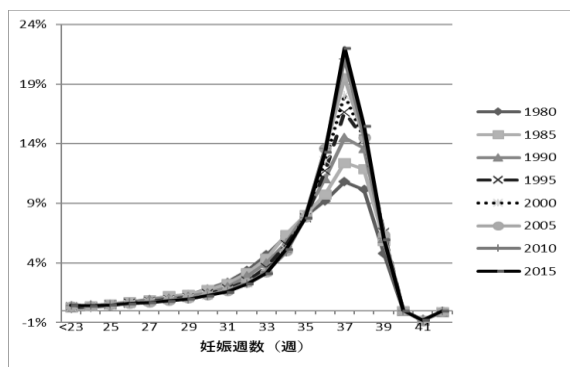


図7は、母体年齢、出生順位、児の性別、単産・複産のすべての項目で調整した妊娠週数別LBW児のPARPであり、妊娠37週をピークにしていることが分かる。1980年の妊娠37週における11%が2015年には22%へと倍増している。

図7 妊娠週数別LBW児PARP(基準=40週)



次に母体年齢別の出生割合を図8に示す。1980年には25~30歳でピークを迎えた母親の出産年齢が2015年では30~34歳へと移動しており、30歳以降へと偏り(すそ野)が広がっていることが分かる。

図8 母体年齢別出生割合

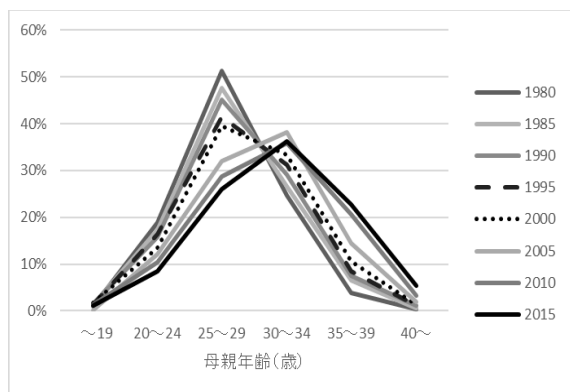
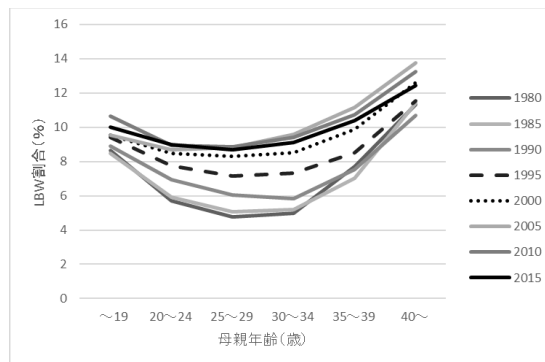


図9は母体年齢別にみたLBW児出生割合である。

図9 母体年齢別LBW児出生割合



妊娠週数、出生順位、児の性別、単産・複産のすべての項目で調整した母体年齢におけるLBWのRRを図10に示す。

図10 母体年齢別LBW RR(基準=25~29歳)

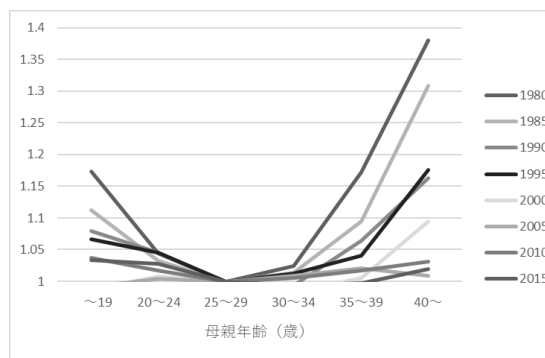
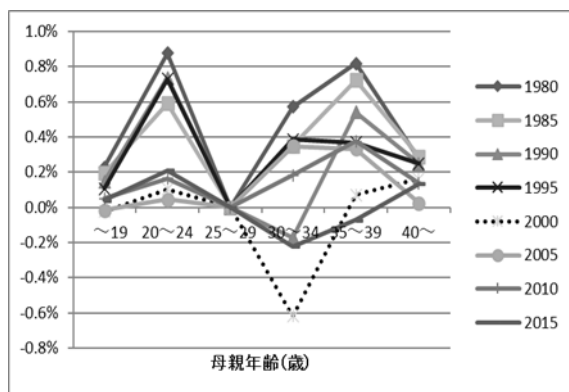


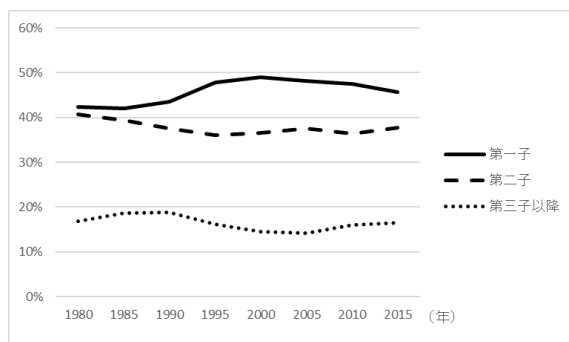
図 11 は、妊娠週数、出生順位、児の性別、単産・複産のすべての項目で調整した母体年齢別の LBW の PARP であり、1980 年における 20~24 歳の 0.88% を最大値として寄与率は総じて小さい。

図 11 母体年齢別 LBW 児 PARP (基準=25~29 歳)



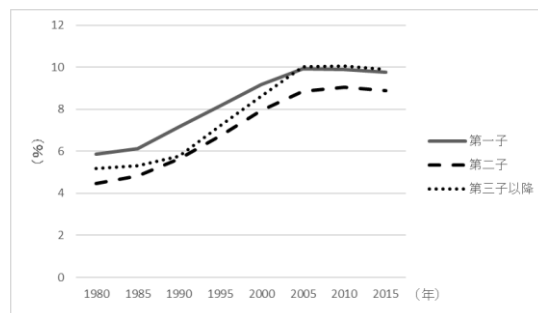
次に出生順位別の出生割合を図 12 に示す。少子化を迎え、第一子のみが増えているかのように感じられるが、全体の出生数減少もあるため相対的には第一子、第二子、第三子の割合に大きな変化がないことが分かる。

図 12 出生順位別出生割合



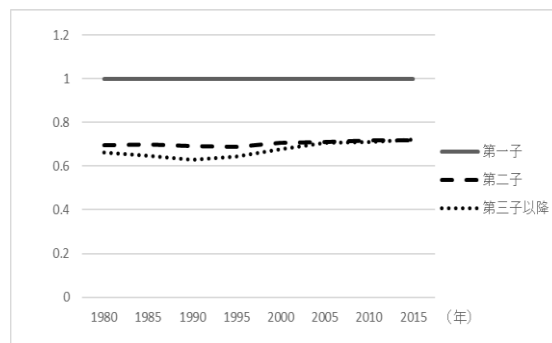
次に出生順位別の LBW 割合の変遷を図 13 に示す。第一子、第二子、第三子ともに 2005 年まで増加しており、その後プラトーに達している。

図 13 出生順位別 LBW 児出生割合



妊娠週数、母体年齢、児の性別、単産・複産のすべての項目で調整した出生順位別 LBW の RR では第一子を基準値 (参照項目) としたところ、第三子以降の児で 1980 年の 0.66 から 2015 年の 0.72、第二子で 1980 年の 0.70 から 2015 年の 0.72 と横ばいであった (図 14)。

図 14 出生順位別 LBW 児 RR (基準=第一子)



妊娠週数、母体年齢、児の性別、単産・複産のすべての項目で調整した出生順位における PARP を見たところ、第二子の寄与は -15% から -13% へ、第三子の寄与は -9% から -7% への変化であった (図 15)。

図 15 出生順位別 LBW 児 PARP (基準=第一子)

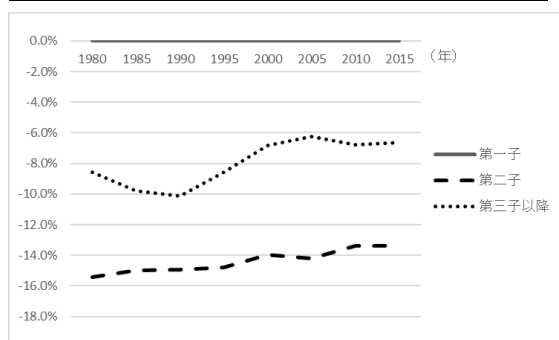
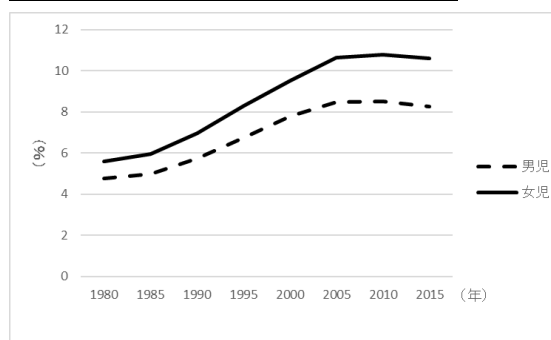


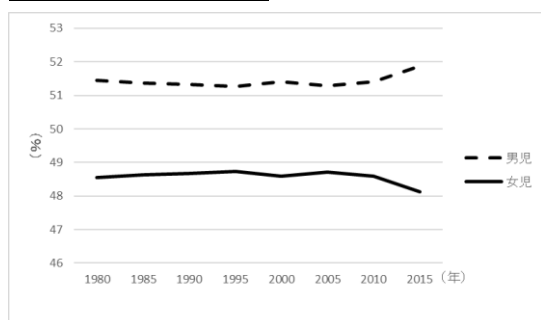
図 18 は妊娠週数、母体年齢、出生順位、単産・複産のすべての項目で調整した性別における LBW の RR であるが、35 年間を通じ、男児を基準とした女児の RR が 1.3 から 1.4 へと上昇していた。

図 18 性別 LBW 児 RR (基準=男児)



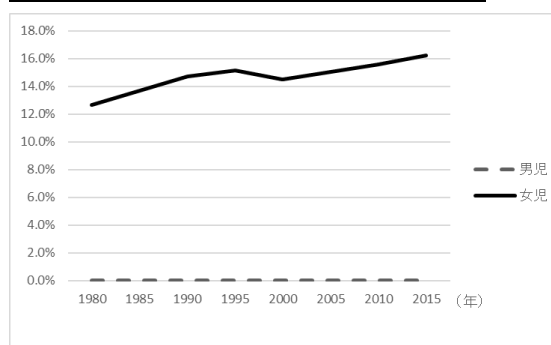
次は、児の性別に関する分析についての結果である。35 年間一定して女児よりも約 3%、男児の出生数の方が多かった (図 16)。

図 16 性別出生割合



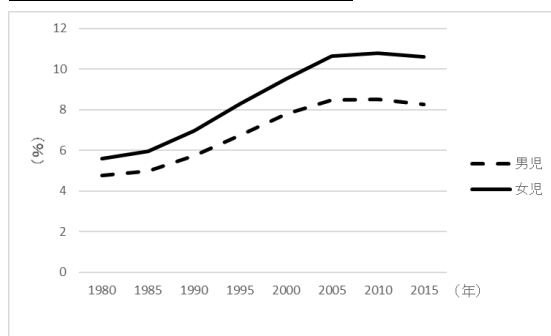
妊娠週数、母体年齢、出生順位、単産・複産のすべての項目で調整した性別における LBW の PARP は、35 年間を通じ、男児を基準とした女児の PARP が 12.7% から 16.2% へと上昇を認めた (図 19)。

図 19 性別 LBW 児 PARP (基準=男児)



出生児の性別で見ると (図 17)、女児 (10.6%) の方が、男児 (8.4%) よりも約 2%、LBW 児割合が高かった。

図 17 性別 LBW 児出生割合



以下は、胎児数（単産・複産）別のLBWにおける影響の大きさについて分析した結果である。

ここでは双胎以上の複産について、この35年間の出生割合を明らかにした。不妊治療等の普及で双胎や品胎が増加傾向にあったが、2005年以降、出生割合は2%以下にとどまっている（図20）。

図20 複産LBW児出生割合

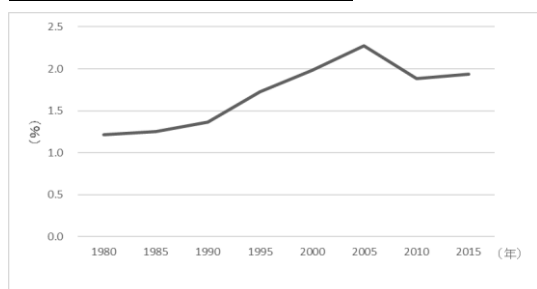


図21は複産のLBW割合であり、1980年の51%から2015年の71%まで上昇がみられる。

図21 複産LBW児割合

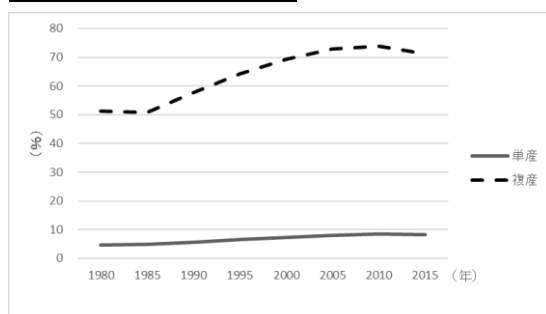


図22は妊娠週数、母体年齢、出生順位、児の性別のすべての項目で調整した複産におけるLBWのRRであるが、3から1.8へと減少している。

図22 複産LBW児RR（基準=単胎）

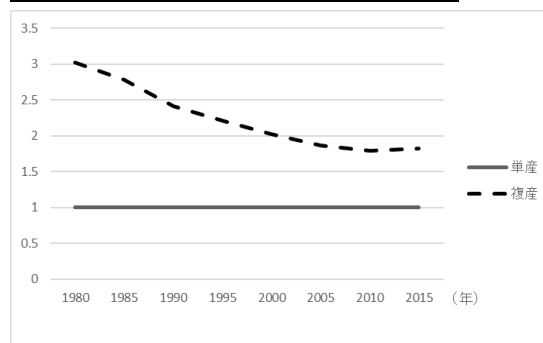
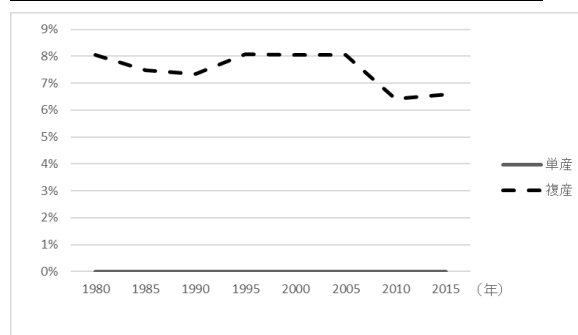


図23は妊娠週数、母体年齢、出生順位、児の性別のすべての項目で調整した複産におけるLBWのPARPであるが8.1%から6.6%へと減少している。

図23 胎児数別LBW児PARP（基準=単胎）



上記の5つの要因すべてについて調整したRR（図24）とPARP（図25）の1980～2015年における経年的変化を後半の表1.1～2.8に示した。LBWにおけるRRやPARPの変遷を見ると、LBWにおいて最も大きなインパクトを与えているのは妊娠週数（妊娠37週前後）であることが分かる。

D. 考察

近年の欧米における疫学研究から、胎児期に発育不良であった児が長じて循環器疾患や生活習慣病になり、成人期の疾患が胎児期・乳幼児期の低栄養環境に起因する、という「Development Origins of Health and Disease (DOHaD・ドーハッド) 学説」が生まれ¹¹⁾、我が国でも出生体重減少により将来のメタボリックシンドロームや循環器疾患が増加するのではないかと懸念されてきた¹²⁾。

これを受け、今回、全出生における解析を行ったところ、妊娠期間の中でも36週から38週のPARP増加が目立っており、特に37週のPARPは11%から22%へと二倍に上昇している。

妊娠週数の短縮がLBW児増加の最も大きな要因であることは2010年までの分析と同様であるが¹⁾、陣痛発来が早まるような器質的要因や機能的要因、陣痛誘発や帝王切開等の医原性要因、妊婦の就労や経済状況、産休取得制度等の社会的要因、化学物質や食物摂取等の環境的要因、妊娠・出産における心理的要因やストレス等、背景にある因果関係を検討し、改善できるものがあれば改善していくことでLBW児の低減につながる可能性がある。

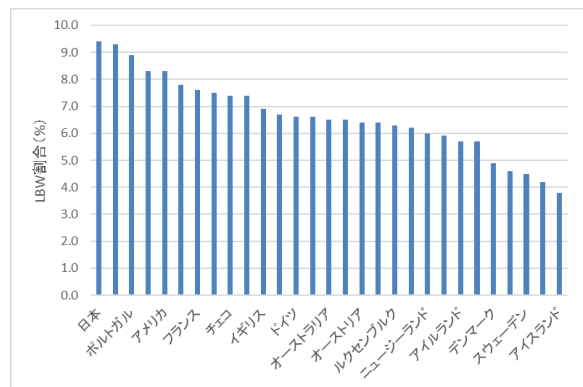
また、これら5つの要因以外にも、妊娠中の体重増加や妊娠前の母体BMI等、LBW児割合増加に関連していると考えられる要因があるため、引き続き、より精緻な分析を行っていく必要があると考えられる。

人口動態統計で把握されていない要因として、女性のやせ願望、妊娠中の体重増加、不妊治療、喫煙などの要素が挙げられる。また、海外ではLBWと社会経済的状況(SES)との関連が大きく、これに加えて新たに感染症、環境汚染、心理社会的ストレスなどの

関連が示唆されている。出生体重減少に与える影響を検討することが望まれる。

また、国際協働連携に視点を転ずると、低出生体重児の国際比較をする際に利用できるデータとして、開発援助委員会(Development Assistance Committee, DAC)のデータがある¹³⁾。DACは、OECDの委員会の一つであり開発途上国への開発援助を奨励するものでOECD加盟国36か国のうち29か国と欧州連合(EU)により構成され、日本の低出生体重児割合はその中でも高い¹⁴⁾(図26)。

図26. OECD加盟諸国中DAC国における低出生体重児出生割合(2018年、文献14より筆者作成)¹⁴⁾



本分担研究においては、5年間隔の人口動態統計特別集計データを利用した。後方視的な解析であるため、1～数年に一度の集計データから最新の妊婦の健康状態や出生体重の傾向を見るのは難しく、より高頻度でのデータ分析が望まれるだろう。

今後のヘルスケア技術の開発とともに、母子保健領域のデータ利活用が進むものと思われるが、2015年時点の我が国の現状を把握し、国際比較可能な指標を提供し、今後への示唆を与えることに貢献したことで、本分担研究がより一層健康な子どもたちの発達や成育に活かされることを願う。

E. 結論

本解析では1980年から2015年までの全数把握データを用いて、低出生体重児割合増加の要因を数値的に解析した。全数で得られた項目は母体年齢（歳）の6つのカテゴリー（～19、20～24、25～29、30～34、35～39、40～）、児の性別における2つのカテゴリー（男児、女児）、単産か複産の2つのカテゴリー（単胎、双胎以上）、出生順位における3つのカテゴリー（第一子、第二子、第三子以上）、妊娠週数（週）（23週未満、24～41週、42週以上）と限られたものであったが、1980年から2015年まで35年間のLBW児出生割合の変遷を分析した意義は大きい。

今後、出生時の妊娠週数に関連する様々な因子を検討し、改善に向けた提言や当事者への啓発方法を考えることが求められる。

2015年9月の国連サミットで可決された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）では「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指しており¹⁵⁾、本分担研究から得られた知見が、LBW児を含めたすべての子どもの健全な育成と健康のため、出生後の育成や発達の経過も含めた総合的な評価と、長期的な支援体制構築に対する提言につながる事が望まれる。

参考文献

1. 吉田穂波、加藤則子、横山徹爾. 人口動態統計からみた長期的な出生時体重の変化と要因について. 保健医療科学 2014 ; 63 (1) : 2-16
2. 厚生労働省. 「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」第35回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料. 平成24年6月20日.
3. 横山徹爾、他. 乳幼児身体発育調査結果の評価及び活用方法に関するワーキンググループの報告. 厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「乳幼児身体発育調査の統計学的解析とその手法及び利活用に関する研究」. 第3回乳幼児身体発育調査企画・評価研究会（資料）. 平成24年3月22日.
4. 横山徹爾、加藤則子、瀧本秀美、他. 乳幼児身体発育評価マニュアル. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「乳幼児身体発育調査の統計学的解析とその手法及び利活用に関する研究」（研究代表者：横山徹爾） 平成23年度総括研究報告書.
5. Tsukamoto H, Fukuoka H, Koyasu M, Nagai Y, Takimoto H. Risk factors for small for gestational age. *Pediatr Int.* 2007 Dec; 49(6):985-90.
6. Takimoto H, Sugiyama T, Fukuoka H, Kato N, Yoshiike N. Maternal weight gain ranges for optimal fetal growth in Japanese women. *Int J Gynaecol Obstet.* 2006 Mar; 92(3):272-8. Epub 2006
7. Takimoto H, Yokoyama T, Yoshiike N, Fukuoka H. Increase in low-birth-weight infants in Japan and associated risk factors, 1980-2000. (早産と多胎) *J Obstet Gynaecol Res.* 2005 Aug; 31(4):314-22.
8. 加藤則子、奥野晃正、高石昌弘. 平成12年乳幼児身体発育調査結果について. 小児保健研究. 2001;60(6):7072-0.
9. Kato N, Takimoto H, Yokoyama T, Yokoya S, Tanaka T, Tada H. Updated Japanese growth references for infants and preschool children, based on historical, ethnic and environmental characteristics.

Acta Paediatrica
Doi:10.1111/apa.12587.

10. 加藤則子、村田光範、河野美穂、谷口隆、大竹輝臣. 0歳から18歳までの身体発育基準について—「食を通じた子どもの健全育成のあり方に関する検討会」報告書— . 小児保健研究 . 2004;63(3):3458
11. 日本 DOHaD 研究会. 第一回日本 DOHaD 研究会年会講演集. DOHaD 研究. 2012 (1) :1.
12. 吉田穂波 , 横山徹爾 , 加藤則子. 出生時体重の低下は何が問題か 乳幼児身体発育調査からみる要因と、効果的な保健指導の方法を探る. 保健師ジャーナル. 2012;68(11):9425-5
13. 外務省. OECD 開発援助委員会. 令和元年 6 月 10 日 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/doukou/dac/dac_gaiyo.html
14. OECD. CO1.3: Low birth weight in :OECD Family Database. 2020. https://www.oecd.org/els/family/CO1_3_Low_birth_weight.pdf
15. 外務省. 国際協力局 地球規模課題総括課. 基礎資料:SDGs の概要及び達成に向けた日本の取組. 令和3年3月

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Yoshida H, Kato N, Yokoyama T. Early full-term birth is an important factor for the increase in the proportion of low-birth-weight infants between 1980 and 2015 in Japan. Journal of the National Institute of Public Health 2022;71(1):77-86.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表 1-1. 人口動態統計集計による低出生体重児割合の変遷 (1980-1985)

	1980 (N=1,576,372)						1985 (N=1,431,068)					
	LBW (+)		LBW (-)		Total		LBW (+)		LBW (-)		Total	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
母親年齢(歳)	81,609	5.18	1,494,763	94.82	1576372	78,136	5.46	1352932	94.54	1431068		
~19	1261	8.65	13313	91.35	14574	1512	8.47	16337	91.53	17849	1.25	
20~24	16903	5.7	279866	94.3	296769	14669	5.93	232614	94.07	247283	17.28	
25~29	38653	4.77	771366	95.23	810019	34631	5.07	648123	94.93	682754	47.71	
30~34	19432	5	369365	95	388797	19800	5.19	361530	94.81	381330	26.65	
35~39	4550	7.7	54522	92.3	59072	6562	7.03	86842	92.97	93404	6.53	
40~	810	11.34	6331	88.66	7141	962	11.39	7486	88.61	8448	0.59	
児の性別												
男児	38698	4.77	772461	95.23	811159	36688	4.99	698324	95.01	735012	51.36	
女児	42911	5.61	722302	94.39	765213	41448	5.95	654608	94.05	696056	48.64	
単産/複産												
単胎	71782	4.61	1485405	95.39	1557187	69014	4.88	1344117	95.12	1413131	98.75	
双胎<	9827	51.22	9358	48.78	19185	9122	50.86	8815	49.14	17937	1.25	
出生順位												
第一子	39101	5.86	628355	94.14	667456	36748	6.11	564963	93.89	601711	42.05	
第二子	28691	4.47	613753	95.53	642444	27239	4.84	535592	95.16	562831	39.33	
第三子<	13817	5.19	252655	94.81	266472	14149	5.31	94.69		14243.69	1.00	
妊娠週数(週)												
<23	137	98.56	2	1.44	139	222	100	0	0	222	0.02	
24	220	99.1	2	0.9	222	298	99.67	1	0.33	299	0.02	
25	328	99.7	1	0.3	329	428	98.85	5	1.15	433	0.03	
26	501	99.21	4	0.79	505	606	99.67	2	0.33	608	0.04	
27	743	98.8	9	1.2	752	714	98.62	10	1.38	724	0.05	
28	1006	95.54	47	4.46	1053	990	96.96	31	3.04	1021	0.07	
29	1119	94.99	59	5.01	1178	1081	95.16	55	4.84	1136	0.08	
30	1525	94.14	95	5.86	1620	1379	94.45	81	5.55	1460	0.10	
31	1984	93.54	137	6.46	2121	1812	95.57	84	4.43	1896	0.13	
32	2813	90.71	288	9.29	3101	2526	93.83	166	6.17	2692	0.19	
33	3908	83.83	754	16.17	4662	3485	89.89	392	10.11	3877	0.27	
34	5249	69.9	2260	30.1	7509	5101	76.2	1593	23.8	6694	0.47	
35	6708	51.07	6428	48.93	13136	6478	55.42	5210	44.58	11688	0.82	
36	8066	28.27	20466	71.73	28532	8089	29.93	18933	70.07	27022	1.89	
37	10331	12.46	72611	87.54	82942	11049	13.33	71866	86.67	82915	5.79	
38	12529	5.2	228464	94.8	240993	13007	5.52	222468	94.48	235475	16.45	
39	11654	2.65	427683	97.35	439337	11154	2.7	401882	97.3	413036	28.86	
40	8515	1.79	468227	98.21	476742	6739	1.62	409546	98.38	416285	29.09	
41	3080	1.53	198553	98.47	201633	2335	1.31	176146	98.69	178481	12.47	
42w<	1193	1.71	68673	98.29	69866	643	1.43	44461	98.57	45104	3.15	

表 1-2. 人口動態統計集計による低出生体重児割合の変遷 (1990-1995)

	1990 (N=1,221,151)						1995 (N=1,186,428)					
	LBW (+)		LBW (-)		Total		LBW (+)		LBW (-)		Total	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
母親年齢(歳)												
~19	1553	8.89	15912	91.11	17465	1.43	1514	9.42	14563	90.58	16077	1.36
20~24	13294	6.93	178500	93.07	191794	15.71	14945	7.73	178444	92.27	193389	16.30
25~29	33403	6.06	517481	93.94	550884	45.11	35332	7.17	457204	92.83	492536	41.51
30~34	20725	5.82	335201	94.18	35926	29.15	27271	7.34	344339	92.66	371610	31.32
35~39	6957	7.54	85347	92.46	92304	7.56	8509	8.51	91465	91.49	99974	8.43
40~	1365	10.68	11413	89.32	12778	1.05	1479	11.52	11363	88.48	12842	1.08
児の性別												
男児	35978	5.74	590764	94.26	626742	51.32	40978	6.74	567227	93.26	608205	51.26
女児	41319	6.95	553090	93.05	594409	48.68	48072	8.31	530151	91.69	578223	48.74
単産/複産												
単胎	67619	5.61	1136808	94.39	1204427	98.63	75922	6.51	1090053	93.49	1165975	98.28
双胎<	9678	57.87	7046	42.13	16724	1.37	13128	64.19	7325	35.81	20453	1.72
出生順位												
第一子	38060	7.16	493346	92.84	531406	43.52	46417	8.18	520758	91.82	567175	47.81
第二子	25949	5.65	433550	94.35	459499	37.63	28823	6.73	399440	93.27	428263	36.10
第三子<	13288	5.77	216958	94.23	230246	18.85	13810	7.23	177180	92.77	190990	16.10
妊娠週数(週)												
<23	218	100	0	0	218	0.02	289	100	0	0	289	0.02
24	364	99.73	1	0.27	365	0.03	339	100	0	0	339	0.03
25	417	99.76	1	0.24	418	0.03	455	99.78	1	0.22	456	0.04
26	551	99.46	3	0.54	554	0.05	589	99.66	2	0.34	591	0.05
27	745	98.94	8	1.06	753	0.06	703	99.72	2	0.28	705	0.06
28	828	97.18	24	2.82	852	0.07	858	96.4	32	3.6	890	0.08
29	943	96.13	38	3.87	981	0.08	1007	94.55	58	5.45	1065	0.09
30	1182	95.25	59	4.75	1241	0.10	1298	96.58	46	3.42	1344	0.11
31	1575	96.45	58	3.55	1633	0.13	1684	95.74	75	4.26	1759	0.15
32	2300	96.96	72	3.04	2372	0.19	2286	97.32	63	2.68	2349	0.20
33	3149	93.47	220	6.53	3369	0.28	3325	94.54	192	5.46	3517	0.30
34	4512	82.04	988	17.96	5500	0.45	5062	85.69	845	14.31	5907	0.50
35	6410	60.35	4212	39.65	10622	0.87	7134	65.03	3836	34.97	10970	0.92
36	9044	34.36	17281	65.64	26325	2.16	10993	39.16	17079	60.84	28072	2.37
37	12631	14.95	71860	85.05	84491	6.92	16487	18.17	74253	81.83	90740	7.65
38	14152	6.31	210199	93.69	224351	18.37	16719	7.46	207382	92.54	224101	18.89
39	10681	2.91	355816	97.09	366497	30.01	12087	3.44	339669	96.56	351756	29.65
40	5700	1.68	333100	98.32	338800	27.74	5919	1.84	316609	98.16	322528	27.18
41	1642	1.25	129695	98.75	131337	10.76	1614	1.29	123393	98.71	125007	10.54
42w<	253	1.24	20219	98.76	20472	1.68	202	1.44	13841	98.56	14043	1.18

表 1-3. 人口動態統計集計による低出生体重児割合の変遷 (2000-2005)

	2000 (N=1,189,975)						2005 (N=1,062,039)					
	LBW (+)		LBW (-)		Total		LBW (+)		LBW (-)		Total	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
母親年齢(歳)	102814	8.64	1087161	91.36	1189975	101213	9.53	960826	90.47	1062039		
~19	1884	9.55	17849	90.45	19733	1578	9.55	14937	90.45	16515	1.56	
20~24	13659	8.47	147592	91.53	161251	11099	8.67	116947	91.33	128046	12.06	
25~29	39069	8.3	431636	91.7	470705	29869	8.8	309363	91.2	339232	31.94	
30~34	33807	8.52	362956	91.48	396763	38770	9.58	365797	90.42	404567	38.09	
35~39	12480	9.88	113840	90.12	126320	17103	11.15	136251	88.85	153354	14.44	
40~	1915	12.6	13288	87.4	15203	2794	13.75	17531	86.25	20325	1.91	
児の性別												
男児	47700	7.8	564152	92.2	611852	46243	8.49	498533	91.51	544776	51.30	
女児	55114	9.53	523009	90.47	578123	54970	10.63	462293	89.37	517263	48.70	
単産/複産												
単胎	86450	7.41	1079913	92.59	1166363	83635	8.06	954278	91.94	1037913	97.73	
双胎<	16364	69.3	7248	30.7	23612	17578	72.86	6548	27.14	24126	2.27	
出生順位												
第一子	53444	9.17	529482	90.83	582926	50731	9.91	461380	90.09	512111	48.22	
第二子	34509	7.94	400344	92.06	434853	35389	8.86	363844	91.14	399233	37.59	
第三子<	14861	8.63	157335	91.37	172196	15093	10.02	135602	89.98	150695	14.19	
妊娠週数(週)												
<23	312	100	0	0	312	424	100	0	0	424	0.04	
24	387	100	0	0	387	423	100	0	0	423	0.04	
25	480	100	0	0	480	502	100	0	0	502	0.05	
26	578	100	0	0	578	607	100	0	0	607	0.06	
27	775	99.49	4	0.51	779	706	100	0	0	706	0.07	
28	937	95.22	47	4.78	984	883	96.82	29	3.18	912	0.09	
29	1089	93	82	7	1171	1069	98.89	12	1.11	1081	0.10	
30	1354	95.69	61	4.31	1415	1368	98.42	22	1.58	1390	0.13	
31	1821	80.47	442	19.53	2263	1713	97.66	41	2.34	1754	0.17	
32	2410	97.1	72	2.9	2482	2429	98.98	25	1.02	2454	0.23	
33	3396	94.57	195	5.43	3591	3333	97.23	95	2.77	3428	0.32	
34	5429	87.9	747	12.1	6176	5188	90.73	530	9.27	5718	0.54	
35	8487	69.69	3692	30.31	12179	8190	74.23	2843	25.77	11033	1.04	
36	13626	43.68	17566	56.32	31192	14429	48.2	15504	51.8	29933	2.82	
37	20649	20.17	81723	79.83	102372	21775	21.71	78524	78.29	100299	9.44	
38	19297	8.44	209304	91.56	228601	18660	9.07	187127	90.93	205787	19.38	
39	13502	3.9	332582	96.1	346084	12338	4.11	287688	95.89	300026	28.25	
40	6475	2.04	310898	97.96	317373	5725	2.03	276738	97.97	282463	26.60	
41	1694	1.39	120024	98.61	121718	1367	1.28	105695	98.72	107062	10.08	
42w<	116	1.18	9722	98.82	9838	84	1.39	5953	98.61	6037	0.57	

表 1-4. 人口動態統計集計による低出生体重児割合の変遷 (2010-2015)

	2010 (N=1,070,869)						2015 (N=1,005,417)					
	LBW (+)		LBW (-)		Total		LBW (+)		LBW (-)		Total	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
母親年齢(歳)	103010	9.62	967859	90.38	1070869	95179	9.47	910238	90.53	1005417	100	
~19	1440	10.66	12068	89.34	13508	1189	9.99	10711	90.01	11900	1.18	
20~24	9927	8.95	100959	91.05	110886	7570	8.97	76829	91.03	84399	8.39	
25~29	27227	8.87	279604	91.13	306831	22746	8.67	239458	91.33	262204	26.08	
30~34	36137	9.4	348126	90.6	384263	33303	9.13	331527	90.87	364830	36.29	
35~39	23589	10.72	196416	89.28	220005	23677	10.37	204568	89.63	228245	22.70	
40~	4690	13.26	30686	86.74	35376	6694	12.43	47145	87.57	53839	5.35	
児の性別	46979	8.53	503546	91.47	550525	43130	8.37	472187	91.63	515317	51.25	
男児	56031	10.77	464313	89.23	520344	52049	10.62	438051	89.23	490100	48.75	
女児	88115	8.39	962563	91.61	1050678	81323	8.25	904634	91.75	985957	98.06	
単産/複産	14895	73.77	5296	26.23	20191	13856	71.2	5604	28.8	19460	1.94	
出生順位	50447	9.9	458991	90.1	509438	46695	9.77	431200	90.23	477895	47.53	
第一子	35327	9.05	354822	90.95	390149	32247	8.88	330950	91.12	363197	36.12	
第二子	17236	10.06	154046	89.94	171282	16237	9.88	148088	90.12	164325	16.34	
第三子<	445	100	0	-345	445	451	100	0	0	451	0.04	
妊娠週数(週)	434	100	0	-334	434	386	100	0	0	386	0.04	
<23	489	100	0	-389	489	458	100	0	0	458	0.05	
24	647	100	0	-547	647	579	100	0	0	579	0.06	
25	761	99.74	2	-661	763	647	99.85	1	0.15	648	0.06	
26	903	96.99	28	-803	931	778	96.29	30	3.71	808	0.08	
27	1015	98.93	11	-915	1026	949	98.44	15	1.56	964	0.10	
28	1317	98.87	15	-1217	1332	1223	98.39	20	1.61	1243	0.12	
29	1718	99.36	11	-1618	1729	1522	99.02	15	0.98	1537	0.15	
30	2367	99.04	23	-2267	2390	2185	99.18	18	0.82	2203	0.22	
31	3450	97.62	84	-3350	3534	3034	97.43	80	2.57	3114	0.31	
32	5156	91.22	496	-5056	5652	5003	91.33	475	8.67	5478	0.54	
33	8258	74.04	2895	-8158	11153	7599	75.23	2502	24.77	10101	1.00	
34	14665	47.66	16102	-14565	30767	13207	46.94	14927	53.06	28134	2.80	
35	23898	21.02	89775	-23798	113673	22826	21.31	84277	78.69	107103	10.65	
36	19133	8.8	198345	-19033	217478	18404	8.42	200285	91.58	218689	21.75	
37	11863	3.95	288617	-11763	300480	10527	3.74	271186	96.26	281713	28.02	
38	5361	1.94	271111	-5261	276472	4546	1.78	250429	98.22	254975	25.36	
39	1093	1.12	96799	-993	97892	837	0.99	83825	99.01	84662	8.42	
40	37	1.03	3545	63	3582	18	0.83	2153	99.17	2171	0.22	
41												
42w<												

表 2-1. すべての項目で調整した LBW の PARP (1980 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	1.17	1.11 - 1.24	1261	186	0.23%
20~24	1.04	1.03 - 1.06	16903	716	0.88%
25~29	1.00	reference	38653	0	0.00%
30~34	1.02	1.01 - 1.04	19432	467	0.57%
35~39	1.17	1.14 - 1.21	4550	667	0.82%
40~	1.38	1.29 - 1.48	810	223	0.27%
児の性別					
男児			38698		0.00%
女児	1.32	1.30 - 1.34	42911	10346	12.68%
単産/複産					
単胎			71782		0.00%
双胎<	3.02	2.95 - 3.09	9827	6570	8.05%
出生順位					
第一子			39101		0.00%
第二子	0.70	0.68 - 0.71	28691	-12581	-15.42%
第三子<	0.66	0.65 - 0.68	13817	-6994	-8.57%
妊娠週数 (週)					
<23	43.88	37.05 - 51.96	137	134	0.16%
24	45.44	39.74 - 51.96	220	215	0.26%
25	49.22	44.07 - 54.96	328	321	0.39%
26	50.97	46.58 - 55.78	501	491	0.60%
27	48.49	44.97 - 52.27	743	728	0.89%
28	46.14	43.21 - 49.27	1006	984	1.21%
29	45.58	42.81 - 48.53	1119	1094	1.34%
30	46.52	44.04 - 49.14	1525	1492	1.83%
31	43.91	41.80 - 46.13	1984	1939	2.38%
32	42.64	40.85 - 44.52	2813	2747	3.37%
33	40.17	38.65 - 41.74	3908	3811	4.67%
34	33.58	32.43 - 34.77	5249	5093	6.24%
35	24.96	24.16 - 25.78	6708	6439	7.89%
36	14.65	14.21 - 15.10	8066	7515	9.21%
37	6.83	6.64 - 7.03	10331	8818	10.81%
38	2.95	2.87 - 3.03	12529	8285	10.15%
39	1.50	1.46 - 1.55	11654	3900	4.78%
40	1.00	1.00 - 1.00	8515	0	0.00%
41	0.84	0.80 - 0.87	3080	-599	-0.73%
42w<	0.93	0.88 - 0.99	1193	-88	-0.11%

Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

表 2-2. すべての項目で調整した LBW の PARP (1985 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	1.11	1.06 - 1.17	1512	153	0.20%
20~24	1.03	1.01 - 1.05	14669	463	0.59%
25~29	1.00	1.00 - 1.00	34631	0	0.00%
30~34	1.01	1.00 - 1.03	19800	273	0.35%
35~39	1.09	1.06 - 1.12	6562	565	0.72%
40~	1.31	1.23 - 1.40	962	227	0.29%
児の性別					
男児	1.00	1.00 - 1.00	36688		0.00%
女児	1.35	1.33 - 1.37	41448	10690	13.68%
単産/複産					
単胎	1.00	1.00 - 1.00	69014		0.00%
双胎<	2.78	2.72 - 2.85	9122	5843	7.48%
出生順位					
第一子	1.00	1.00 - 1.00	36748		0.00%
第二子	0.70	0.69 - 0.71	27239	-11714	-14.99%
第三子<	0.65	0.63 - 0.66	14149	-7665	-9.81%
妊娠週数 (週)					
<23	56.14	49.11 - 64.17	222	218	0.28%
24	54.91	48.89 - 61.68	298	293	0.37%
25	52.87	47.94 - 58.31	428	420	0.54%
26	57.04	52.48 - 62.00	606	595	0.76%
27	52.46	48.56 - 56.68	714	700	0.90%
28	54.09	50.59 - 57.83	990	972	1.24%
29	52.46	49.18 - 55.95	1081	1060	1.36%
30	50.49	47.63 - 53.52	1379	1352	1.73%
31	51.30	48.69 - 54.05	1812	1777	2.27%
32	51.04	48.74 - 53.45	2526	2477	3.17%
33	48.49	46.53 - 50.54	3485	3413	4.37%
34	42.06	40.54 - 43.63	5101	4980	6.37%
35	30.72	29.68 - 31.80	6478	6267	8.02%
36	17.40	16.85 - 17.98	8089	7624	9.76%
37	8.15	7.91 - 8.40	11049	9693	12.41%
38	3.49	3.38 - 3.59	13007	9276	11.87%
39	1.70	1.65 - 1.75	11154	4587	5.87%
40	1.00	1.00 - 1.00	6739	0	0.00%
41	0.79	0.75 - 0.83	2335	-631	-0.81%
42w<	0.85	0.79 - 0.92	643	-112	-0.14%

Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

表 2-3. すべての項目で調整した LBW の PARP (1990 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	1.08	1.03 - 1.14	1553	114	0.15%
20~24	1.04	1.02 - 1.07	13294	570	0.74%
25~29	1.00	1.00 - 1.00	33403	0	0.00%
30~34	0.99	0.98 - 1.01	20725	-133	-0.17%
35~39	1.06	1.04 - 1.09	6957	418	0.54%
40~	1.16	1.10 - 1.23	1365	191	0.25%
児の性別					
男児	1.00	1.00 - 1.00	35978		0.00%
女児	1.38	1.36 - 1.40	41319	11378	14.72%
単産/複産					
単胎	1.00	1.00 - 1.00	67619		0.00%
双胎<	2.41	2.36 - 2.47	9678	5665	7.33%
出生順位					
第一子	1.00	1.00 - 1.00	38060		0.00%
第二子	0.69	0.68 - 0.70	25949	-11554	-14.95%
第三子<	0.63	0.62 - 0.64	13288	-7835	-10.14%
妊娠週数 (週)					
<23	50.78	44.35 - 58.15	218	214	0.28%
24	50.95	45.81 - 56.66	364	357	0.46%
25	49.86	45.13 - 55.09	417	409	0.53%
26	52.33	47.93 - 57.12	551	540	0.70%
27	49.48	45.82 - 53.42	745	730	0.94%
28	50.61	47.03 - 54.45	828	812	1.05%
29	50.71	47.32 - 54.35	943	924	1.20%
30	50.66	47.57 - 53.95	1182	1159	1.50%
31	49.40	46.70 - 52.26	1575	1543	2.00%
32	49.89	47.51 - 52.40	2300	2254	2.92%
33	48.95	46.84 - 51.15	3149	3085	3.99%
34	43.05	41.38 - 44.79	4512	4407	5.70%
35	32.72	31.56 - 33.92	6410	6214	8.04%
36	19.33	18.69 - 19.98	9044	8576	11.09%
37	8.97	8.70 - 9.26	12631	11223	14.52%
38	3.90	3.78 - 4.02	14152	10523	13.61%
39	1.78	1.72 - 1.84	10681	4681	6.06%
40	1.00	1.00 - 1.00	5700	0	0.00%
41	0.72	0.68 - 0.76	1642	-651	-0.84%
42w<	0.70	0.62 - 0.79	253	-109	-0.14%

Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

表 2-4. すべての項目で調整した LBW の PARP (1995 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	1.07	1.01 - 1.12	1514	94	0.11%
20~24	1.05	1.03 - 1.07	14945	649	0.73%
25~29	1.00	1.00 - 1.00	35332	0	0.00%
30~34	1.01	1.00 - 1.03	27271	344	0.39%
35~39	1.04	1.02 - 1.07	8509	329	0.37%
40~	1.18	1.12 - 1.24	1479	221	0.25%
児の性別					
男児	1.00	1.00 - 1.00	40978		0.00%
女児	1.39	1.37 - 1.41	48072	13491	15.15%
単産/複産					
		1.00			
単胎	1.00	1.00 - 1.00	75922		0.00%
双胎<	2.21	2.16 - 2.25	13128	7185	8.07%
出生順位					
第一子	1.00	1.00 - 1.00	46417		0.00%
第二子	0.69	0.68 - 0.70	28823	-13165	-14.78%
第三子<	0.64	0.63 - 0.66	13810	-7616	-8.55%
妊娠週数 (週)					
<23	44.26	39.32 - 49.82	289	282	0.32%
24	45.43	40.71 - 50.70	339	332	0.37%
25	49.38	44.88 - 54.34	455	446	0.50%
26	46.49	42.70 - 50.62	589	576	0.65%
27	48.22	44.58 - 52.15	703	688	0.77%
28	45.72	42.54 - 49.13	858	839	0.94%
29	45.20	42.26 - 48.33	1007	985	1.11%
30	44.01	41.42 - 46.76	1298	1269	1.42%
31	44.66	42.28 - 47.16	1684	1646	1.85%
32	45.33	43.17 - 47.59	2286	2236	2.51%
33	44.61	42.73 - 46.57	3325	3250	3.65%
34	40.58	39.06 - 42.16	5062	4937	5.54%
35	31.67	30.58 - 32.80	7134	6909	7.76%
36	20.07	19.44 - 20.72	10993	10445	11.73%
37	9.96	9.67 - 10.26	16487	14832	16.66%
38	4.26	4.14 - 4.39	16719	12796	14.37%
39	1.93	1.87 - 1.99	12087	5826	6.54%
40	1.00	1.00 - 1.00	5919	0	0.00%
41	0.68	0.64 - 0.72	1614	-769	-0.86%
42w<	0.74	0.64 - 0.85	202	-72	-0.08%

Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

表 2-5. すべての項目で調整した LBW の PARP (2000 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	0.99	0.94 - 1.03	1884	-25	-0.02%
20~24	1.01	0.99 - 1.03	13659	106	0.10%
25~29	1.00	1.00 - 1.00	39069	0	0.00%
30~34	0.98	0.97 - 1.00	33807	-635	-0.62%
35~39	1.01	0.99 - 1.03	12480	72	0.07%
40~	1.09	1.05 - 1.15	1915	166	0.16%
児の性別					
男児	1.00	1.00 - 1.00	47700		0.00%
女児	1.37	1.35 - 1.39	55114	14925	14.52%
単産/複産					
単胎	1.00	1.00 - 1.00	86450		0.00%
双胎<	2.02	1.99 - 2.06	16364	8280	8.05%
出生順位					
第一子	1.00	1.00 - 1.00	53444		0.00%
第二子	0.71	0.70 - 0.72	34509	-14339	-13.95%
第三子<	0.68	0.67 - 0.69	14861	-7040	-6.85%
妊娠週数 (週)					
<23	41.67	37.19 - 46.70	312	305	0.30%
24	43.50	39.25 - 48.20	387	378	0.37%
25	42.58	38.80 - 46.73	480	469	0.46%
26	42.77	39.28 - 46.58	578	564	0.55%
27	41.54	38.54 - 44.76	775	756	0.74%
28	39.50	36.87 - 42.32	937	913	0.89%
29	39.06	36.62 - 41.67	1089	1061	1.03%
30	41.41	39.04 - 43.92	1354	1321	1.29%
31	35.75	33.93 - 37.67	1821	1770	1.72%
32	40.61	38.73 - 42.58	2410	2351	2.29%
33	40.23	38.58 - 41.96	3396	3312	3.22%
34	37.44	36.09 - 38.84	5429	5284	5.14%
35	30.25	29.27 - 31.26	8487	8206	7.98%
36	19.71	19.12 - 20.31	13626	12935	12.58%
37	9.96	9.68 - 10.24	20649	18575	18.07%
38	4.35	4.22 - 4.47	19297	14856	14.45%
39	1.97	1.91 - 2.03	13502	6648	6.47%
40	1.00	1.00 - 1.00	6475	0	0.00%
41	0.66	0.62 - 0.69	1694	-888	-0.86%
42w<	0.55	0.45 - 0.66	116	-97	-0.09%

Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

表 2-6. すべての項目で調整した LBW の PARP (2005 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	0.99	0.94 - 1.04	1578	-15	-0.01%
20~24	1.00	0.98 - 1.03	11099	45	0.04%
25~29	1.00	1.00 - 1.00	29869	0	0.00%
30~34	1.01	0.99 - 1.02	38770	351	0.35%
35~39	1.02	1.00 - 1.04	17103	335	0.33%
40~	1.01	0.97 - 1.05	2794	25	0.02%
児の性別					
男児	1.00	1.00 - 1.00	46243		0.00%
女児	1.38	1.37 - 1.40	54970	15233	15.05%
単産/複産					
単胎	1.00	1.00 - 1.00	83635		0.00%
双胎<	1.86	1.83 - 1.90	17578	8143	8.05%
出生順位					
第一子	1.00	1.00 - 1.00	50731		0.00%
第二子	0.71	0.70 - 0.72	35389	-14356	-14.18%
第三子<	0.70	0.69 - 0.72	15093	-6316	-6.24%
妊娠週数 (週)					
<23	45.02	40.78 - 49.69	424	415	0.41%
24	44.67	40.46 - 49.31	423	414	0.41%
25	43.60	39.79 - 47.78	502	490	0.48%
26	45.25	41.60 - 49.21	607	594	0.59%
27	44.06	40.73 - 47.65	706	690	0.68%
28	42.82	39.87 - 45.97	883	862	0.85%
29	42.22	39.53 - 45.08	1069	1044	1.03%
30	43.19	40.71 - 45.84	1368	1336	1.32%
31	41.78	39.57 - 44.12	1713	1672	1.65%
32	42.92	40.92 - 45.03	2429	2372	2.34%
33	41.45	39.69 - 43.28	3333	3253	3.21%
34	38.89	37.43 - 40.41	5188	5055	4.99%
35	32.52	31.42 - 33.66	8190	7938	7.84%
36	21.56	20.90 - 22.24	14429	13760	13.59%
37	10.84	10.53 - 11.16	21775	19766	19.53%
38	4.73	4.59 - 4.87	18660	14713	14.54%
39	2.09	2.03 - 2.16	12338	6444	6.37%
40	1.00	1.00 - 1.00	5725	0	0.00%
41	0.60	0.57 - 0.64	1367	-895	-0.88%
42w<	0.64	0.51 - 0.79	84	-48	-0.05%

Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

表 2-7. すべての項目で調整した LBW の PARP (2010 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	1.04	0.98 - 1.09	1440	52	0.05%
20~24	1.02	0.99 - 1.04	9927	170	0.17%
25~29	1.00	1.00 - 1.00	27227	0	0.00%
30~34	1.01	0.99 - 1.02	36137	187	0.18%
35~39	1.02	1.00 - 1.03	23589	386	0.37%
40~	1.03	1.00 - 1.06	4690	141	0.14%
児の性別					
男児	1.00	1.00 - 1.00	46979		0.00%
女児	1.40	1.38 - 1.42	56031	16050	15.58%
単産/複産					
単胎	1.00	1.00 - 1.00	88115		0.00%
双胎<	1.80	1.76 - 1.83	14895	6604	6.41%
出生順位					
第一子	1.00	1.00 - 1.00	50447		0.00%
第二子	0.72	0.71 - 0.73	35327	-13768	-13.37%
第三子<	0.71	0.70 - 0.72	17236	-6968	-6.76%
妊娠週数 (週)					
<23	48.76	44.26 - 53.72	445	436	0.42%
24	48.10	43.61 - 53.04	434	425	0.41%
25	48.53	44.23 - 53.24	489	479	0.46%
26	48.29	44.50 - 52.40	647	634	0.62%
27	47.17	43.72 - 50.91	761	745	0.72%
28	45.92	42.79 - 49.29	903	883	0.86%
29	45.92	42.92 - 49.12	1015	993	0.96%
30	45.63	42.94 - 48.48	1317	1288	1.25%
31	46.31	43.85 - 48.92	1718	1681	1.63%
32	46.04	43.85 - 48.35	2367	2316	2.25%
33	45.46	43.53 - 47.47	3450	3374	3.28%
34	42.95	41.32 - 44.65	5156	5036	4.89%
35	35.14	33.93 - 36.38	8258	8023	7.79%
36	23.20	22.47 - 23.95	14665	14033	13.62%
37	11.20	10.87 - 11.54	23898	21765	21.13%
38	4.82	4.68 - 4.97	19133	15166	14.72%
39	2.10	2.04 - 2.17	11863	6225	6.04%
40	1.00	1.00 - 1.00	5361	0	0.00%
41	0.55	0.52 - 0.59	1093	-891	-0.86%
42w<	0.49	0.35 - 0.68	37	-39	-0.04%

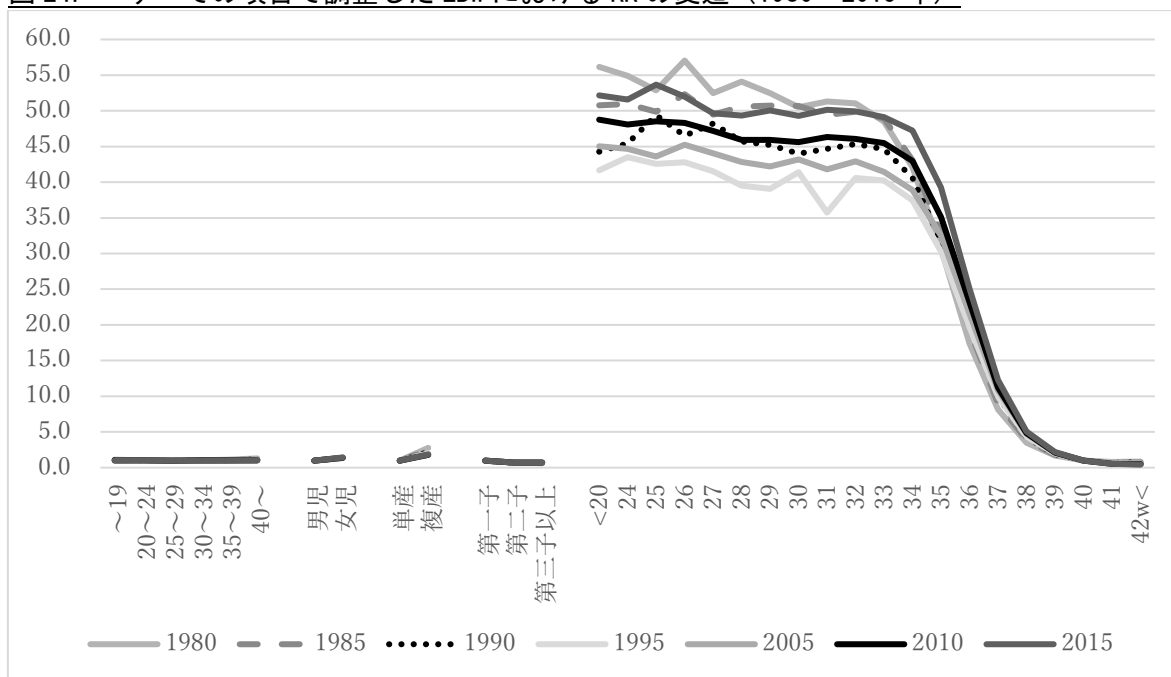
Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

表 2-8. すべての項目で調整した LBW の PARP (2015 年)

母親年齢 (歳)	RR	95%CI	LBW人数	過剰発生数	PARP
~19	1.03	0.97 - 1.24	1189	39	0.04%
20~24	1.03	1.00 - 1.06	7570	199	0.21%
25~29	1.00	1.00 - 1.00	22746	0	0.00%
30~34	0.99	0.98 - 1.00	33303	-210	-0.22%
35~39	1.00	0.98 - 1.00	23677	-69	-0.07%
40~	1.02	0.99 - 1.00	6694	127	0.13%
児の性別					
男児	1.00	1.00 - 1.00	43130	0	0.00%
女児	1.42	1.40 - 1.00	52049	15440	16.22%
単産/複産					
単胎	1.00	1.00 - 1.00	81323	0	0.00%
双胎<	1.82	1.79 - 1.00	13856	6251	6.57%
出生順位					
第一子	1.00	1.00 - 1.00	46695	0	0.00%
第二子	0.72	0.71 - 1.00	32247	-12742	-13.39%
第三子<	0.72	0.71 - 1.00	16237	-6321	-6.64%
妊娠週数 (週)					
		-			
<23	52.17	47.36 - 1.00	451	442	0.46%
24	51.59	46.49 - 1.00	386	379	0.40%
25	53.67	48.74 - 1.00	458	449	0.47%
26	51.96	47.64 - 1.00	579	568	0.60%
27	49.64	45.70 - 1.00	647	634	0.67%
28	49.34	45.72 - 1.00	778	762	0.80%
29	50.06	46.67 - 1.00	949	930	0.98%
30	49.28	46.25 - 1.00	1223	1198	1.26%
31	50.15	47.30 - 1.00	1522	1492	1.57%
32	49.94	47.43 - 1.00	2185	2141	2.25%
33	49.09	46.87 - 1.00	3034	2972	3.12%
34	47.22	45.35 - 1.00	5003	4897	5.15%
35	39.24	37.81 - 1.00	7599	7405	7.78%
36	25.07	24.23 - 1.00	13207	12680	13.32%
37	12.29	11.90 - 1.00	22826	20969	22.03%
38	5.04	4.88 - 1.00	18404	14755	15.50%
39	2.17	2.10 - 1.00	10527	5676	5.96%
40	1.00	1.00 - 1.00	4546	0	0.00%
41	0.53	0.49 - 1.00	837	-743	-0.78%
42w<	0.43	0.27 - 1.00	18	-24	-0.03%

Low birth Weight: LBW、Population Attributable Risk Proportion: PARP
Reference: RR=0 とした際の参照項目

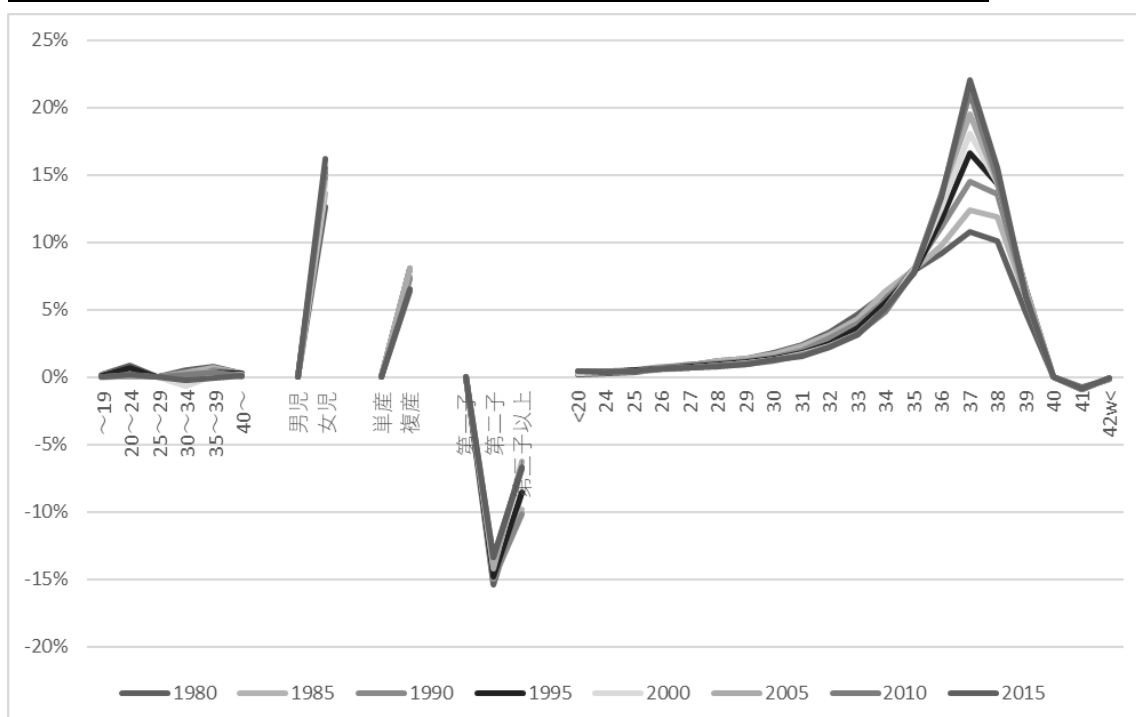
図 24. すべての項目で調整した LBW における RR の変遷 (1980~2015 年)



Low birth Weight: LBW、 Relative Risk : RR

Reference : RR=0 とした際の参照項目

図 25. すべての項目で調整した LBW における PARP の変遷 (1980~2015 年)



Low birth Weight: LBW、 Population Attributable Risk Proportion : PARP